

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

|        |   |      |  |   |
|--------|---|------|--|---|
| 行事ID   | C082  | 行事名  | 産官学民連携シンポジウム「先例に学ぶ危機突破のイノベーション」  |   |
| 行事形式   | シンポジウム                                      | 主催団体 | (一社)映像情報メディア学会、研究・イノベーション学会、KANSAI@CAN<br>フォーラム、情報通信月間事務局、CIAJ、IEEE TMC他 |   |
| 開催日    | 2021/06/19 (土)午後                            |      | 開催場所   | 港区芝 機械振興会館6階6D-3会議室<br>オンライン併用  |
| 行事参加者数 | 50 視聴端末数が基準、実際には家庭、<br>大学研究室等で一端末複数人での視聴あり。 |      | WebサイトURL  | <a href="http://www.s-nakahara.com/ir/">http://www.s-nakahara.com/ir/</a> |

## 行事実施概要・アピール等

テーマ:先例に学ぶ危機突破のイノベーション:産官学民の総力戦、阪神淡路大震災からの復活劇  
-危機に直面した歴史の街で何があったのか、観光、ベンチャー、ICT、文化と伝統

被災地の関西で開催予定であったがCOVID-19緊急事態宣言の発出により会場を東京に移し宣言期間延長により開催延期、加えてオンライン主体への切りを余儀なくされた。

構成は主催3団体挨拶(神戸国際大学学長 辻会長、岩鼻事務局長、元総合科学技術・イノベーション会議議員原山会長)、総務省電気通信事業部長 今川 拓郎 氏による基調講演「災害とICT」に続き総務省自治大学校 客員教授／元兵庫県企画県民部長／前消防大学校長 牧 慎太郎 氏(総務省キャリア)とiU 情報経営イノベーション専門職大学 教授 久米 信行 氏による対談「復興とICT」、最後に東京大学 名誉教授で数々の審議会で座長を務めた原島 博 氏と前文化庁長官で元東京藝大学長 宮田 亮平 氏との対談「復興における文化・伝統・コミュニケーションの力」とした。

参加者には学生も多かったが視聴がザッピング感覚であり自分の好きな部分を抜出して参加する傾向があり、リベラルアーツの一環として注力した最後の対談の参加学生数は少なかった。  
これが今後の課題である。

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

